

SHARP

ネットワークカメラ

YK-F12AB

設置ガイド



シャープ株式会社

設置する前にご確認ください

ネットワークカメラの設置を安全に行うために、次の点を必ずお守りのうえ、設置作業を正しく実施してください

- 設置工事はお客様ご自身で実施せず、販売店または専門の設置業者にご依頼ください。
- 本製品は、IP67 に準拠した屋外対応の仕様となります。屋外対応の詳細については、取扱説明書（基本編）をご確認ください。
- 製品仕様の使用環境（温度（-10℃～50℃）、湿度（10%～90%RH）、結露なきこと）の範囲内でご使用ください。
- 曲面、段差、凹凸によって本体が安定して取り付けられないような場所には設置しないでください。
- 強い電磁的なノイズの影響を受ける場所への設置は避けてください。映像が乱れる原因になります。
- 磁気干渉を避けるため、磁石やスピーカーの近くには設置しないでください。
- 設置場所が石こうボードなど、強度が不十分な場所に取り付ける場合は、事前に十分な補強を施してください。
- 本製品の取り付け不備、取り扱い不備における事故・損傷・損害について、弊社は一切その責任を負いません。
- ケーブルの曲がり半径、ケーブルの長さには十分に余裕を持たせてください。
- アラーム、オーディオ入出力を使用する場合は、各ケーブルを確実に接続してください。
- カメラを分解しないでください。故障の原因となります。

1-1. YK-F12AB の設置について

付属品の確認

箱を開けて、以下のものが入っていることを確認してください。

<p>カメラ本体×1、防水ジャケット×1 (イーサネット端子に防水ジャケットが装着されています。)</p>	
<p>取扱説明書（基本編）×1</p>	
<p>ネジ×3、アンカープラグ×3、 3ピン端子（オーディオ端子接続用）×1、 4ピン端子（アラーム端子接続用）×1</p>	
<p>ドリルテンプレート</p>	

設置前の動作確認

カメラの設置を行う前に、カメラの設定および動作確認を実施してください。

設定の手順は取扱説明書(操作・設定編)をご確認ください。

また、NVR(ネットワーク・ビデオ・レコーダー)と合わせて設置する場合には、事前に接続の設定を実施した上で、映像の撮影などの基本機能に問題が無いことを確認してください。

microSDメモリーカードをセットしてください

※メモリーカードのセットは必須ではありません。セットしない場合は、P.6の「カメラを設置してください」から作業を始めてください。

1. プラスドライバーを用いてブラケットネジを緩め、ブラケットを反時計回りにゆっくりと回してブラケットを取り外してください。紛失を防ぐため、ブラケットネジは完全に外さないでください。



2. プラスドライバーを用いてメモリーカードカバーのネジを緩め、メモリーカードカバーを外してください。紛失を防ぐため、メモリーカードカバーのネジは、完全に緩めても抜け落ちないようにになっています。



3. メモリーカードスロットに microSD メモリーカードを装着してください。メモリーカードを取り出す場合は、再度押し込んでから引き出してください。
4. メモリーカードカバーを取り付けてください。プラスドライバーでメモリーカードカバーのネジを締め付けてください。ネジは緩むことのないようしっかりと締め付けてください。



【ご注意】

- microSD メモリーカードは「カチッ」と音がするまで、ゆっくりと指で押し込んでください。
- microSD メモリーカードの向き(端子面が下向き)に、注意してください。
- microSD メモリーカードは、フォーマットしてからご使用してください。フォーマット方法は、取扱説明書(操作・設定編)を参照してください。
- microSD メモリーカードの端子面に直接触れないように注意してください。万一、直接触れて指紋などが付いた場合、乾いた柔らかい布で拭き取るようにしてください。
- メモリーカードカバーを取り付ける際に黒いパッキン部分に異物の付着が無いこと、パッキンが溝からはみ出していないことを確認してから取り付けてください。屋外で使用する場合は浸水の原因となります。
- 締め付けトルクは 0.2N・m (2.04Kgf・cm) で締結してください。

カメラを設置してください

本製品は壁や天井への設置に対応しています。

設置場所に十分な強度があることを確認した上で設置を行ってください。

また、本製品は壁や天井に開けた穴を通して配線する方法と、側面開口部からケーブルを引き出して配線する2通りの配線をサポートしています。穴を通して配線する場合は事前に壁もしくは天井に穴を開けてください。

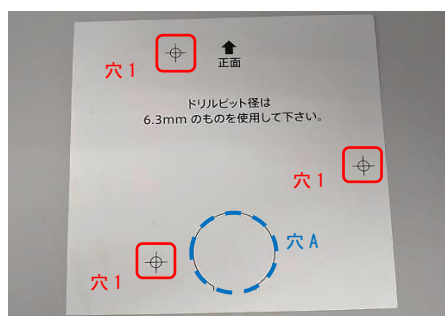
【ご注意】

- 設置場所が、石こうボードなどの強度が不十分な場所に取り付ける場合は、事前に十分な補強を施してください。
- 本製品に付属しているアンカープラグはコンクリート壁専用です。その他の材質へは使用できません。
- コンクリート以外の材質へ固定する際には、壁や天井の材質に合わせた市販のネジやアンカープラグ等を使用してください。
詳しい作業手順については、使用する機材の作業手順をご参照ください。
- 本製品の取り付け不備、取り扱い不備における事故・損傷・損害について、弊社は一切その責任を負いません。

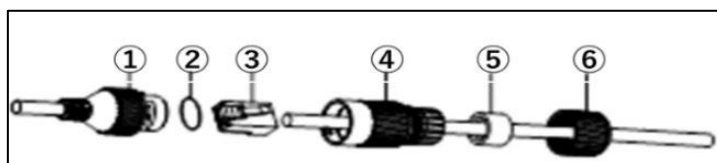
1. 付属のドリルテンプレートの穴1に合わせてドリルで設置場所に下穴を3ヶ所あけてください。

コンクリートに取り付ける場合にはΦ6.3の穴を開けて、付属のアンカープラグを差し込んでからネジを締めてください。

壁や天井を通してケーブルを配線する場合は、ドリルテンプレートの穴Aに合わせてケーブル穴を開けてください。また、側面開口部からケーブルを配線することもできます。その場合には穴Aをあける必要はありません。



2. イーサネットケーブルに、防水ジャケットを取り付けてください。
ケーブル抜け防止の観点から、屋内設置の場合においても防水ジャケットの取り付けを推奨します。



- ① イーサネット端子(カメラ側部品)
- ② パッキン(カメラ側部品)
- ③ RJ-45 コネクタ
- ④ 防水ジャケットカバー
- ⑤ ガスケット
- ⑥ 防水キャップ

1) ⑥、⑤、④の順にLAN ケーブルに通してください。



幅が広い方が奥になるように組み付ける。



正しい組み付け状態



間違った組付け状態

2) RJ-45 コネクタカシメ圧着工具を使用して、③をLAN ケーブル先端にかしめてください。
その際、ストレート結線にしてください。



3) ①に②が装着されている事を確認してください。

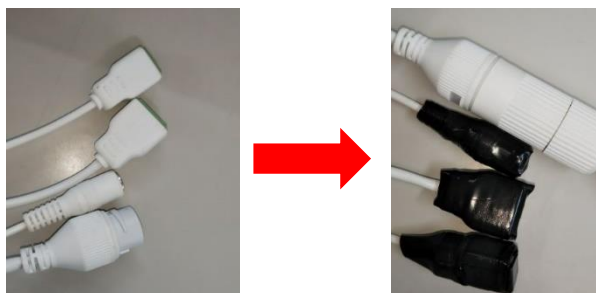


4) ①に③を差し込み④と結合してください。



※未使用の端子は自己融着テープなどを使用して防水処理を施してください。

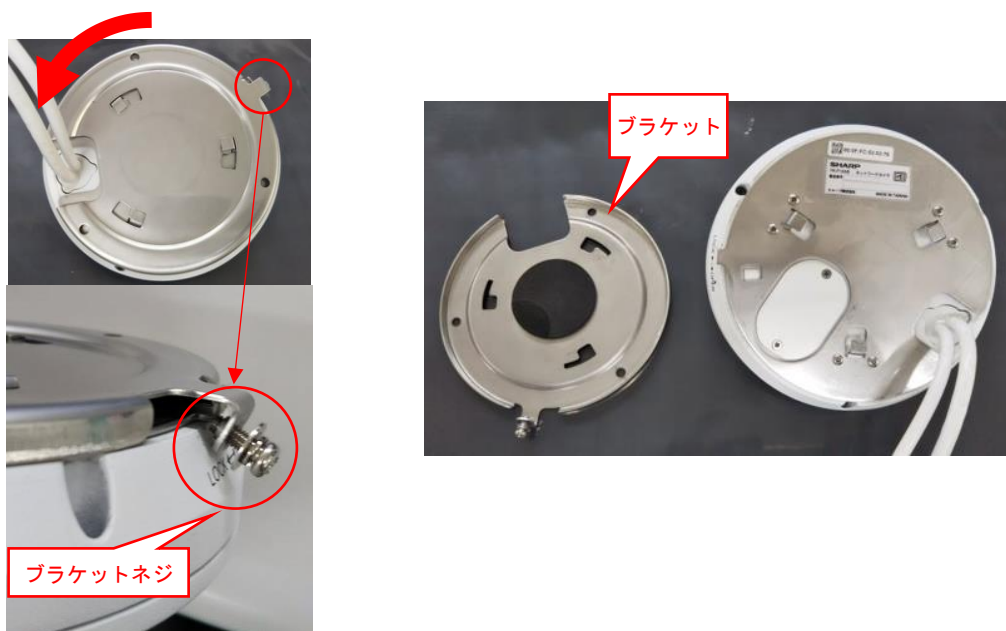
また、雨水の影響を受けない環境下(屋内など)に設置する場合も、誤接続を避ける為、同様に端子部をテープで塞いでください。



【ご注意】

- ガasketの向きを間違えて取り付けると隙間から浸水する場合があります。正しい方向で取り付けてください。
- 防水処理を施す際は、すき間が生じないようにしてください。
- シーリング材を用いる場合、シロキサンを抑制したものを使用してください。

3. プラスドライバーを用いてブラケットネジを緩め、ブラケットを反時計回りにゆっくりと回してブラケットを取り外してください。紛失を防ぐため、ブラケットネジを完全に外さないでください。



4. ドリルテンプレートを用いて開けた 3 ヶ所の穴に付属のネジでブラケットを取り付けてください。



5. ブラケットネジとカメラ筐体の「OPEN」の印刷位置を合わせるように監視カメラをブラケットに押し込んでください。

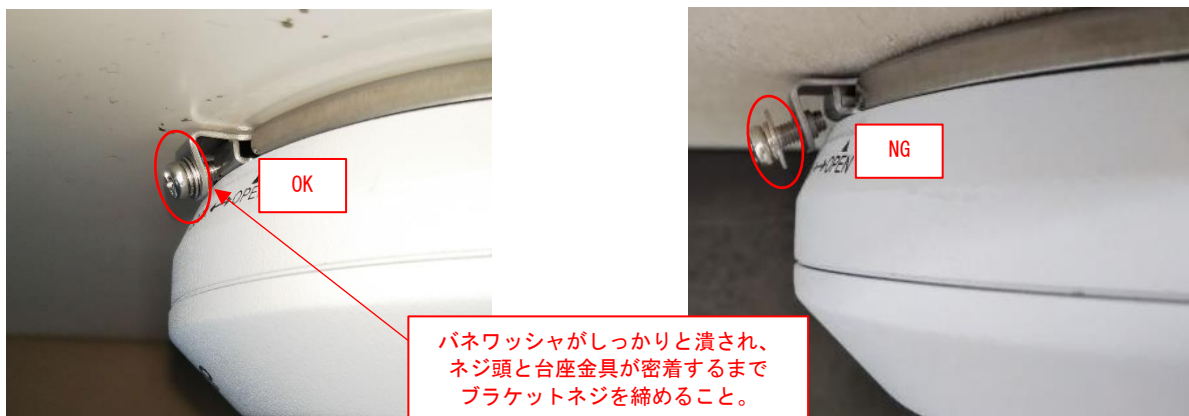
カメラを「LOCK」方向にゆっくりと動かなくなるまで回してください。



【ご注意】

- カメラをしっかり押し込み、ブラケットとカメラの間に隙間が無いことを確認してください。隙間がある場合、カメラのツメとブラケットが正常に噛み合いません。

6. 監視カメラの落下防止の為、ブラケットネジをしっかりと締めてください。



正しい状態

間違った状態

【ご注意】

- 正常に取り付けられたか確認するため、一度カメラを「OPEN」方向に回してカメラが動かないかを確認してください。
- ネジ頭が金具に密着するまでネジをしっかりと締め付けてください。
- ネジを締め付けてもネジ頭とブラケットが密着していない場合は、ネジの先端がブラケットの突起と当たっているため、一度緩め再度カメラを「LOCK」方向に回してからブラケットネジを締め付けてください。正常に固定できていない場合、カメラが落下する恐れがあります。

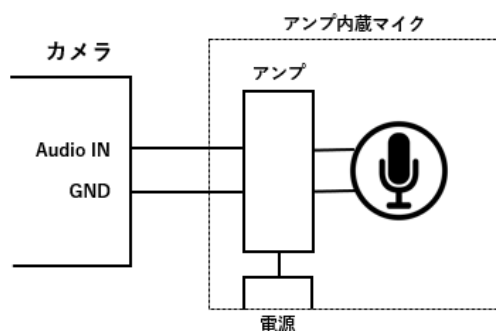
オーディオ端子、アラーム端子の接続

オーディオ端子、アラーム端子は防水仕様ではないため、屋外に設置する場合は自己融着テープなどを使用して防水処理を施してください。

【オーディオ端子の接続】

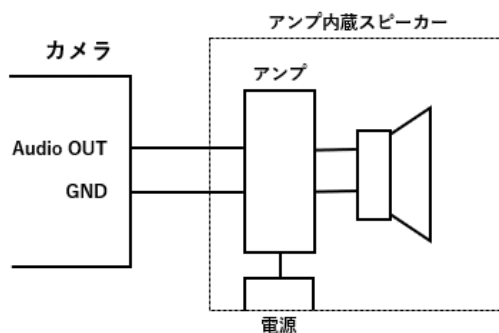
・ Audio IN

アンプを内蔵した外部マイクを接続することができます。マイクを動作させる電源（ACアダプター等）は別途必要となります。



・ Audio OUT

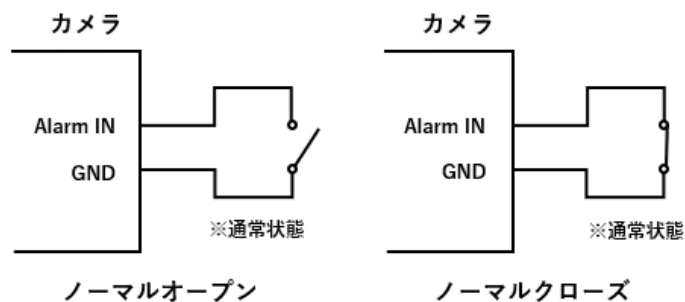
アンプを内蔵した外部スピーカーを接続することができます。スピーカーを動作させる電源（ACアダプター等）は別途必要となります。



【アラーム端子の接続】

・ Alarm IN

接続する機器に合わせて、通常接点が解放されている状態の NO（ノーマルオープン）か、通常接点がつながっている状態の NC（ノーマルクローズ）かを選択して使用できます。



1. 電源投入前に各ケーブルを確実に接続してください。
2. 端子台のネジをマイナスドライバーで緩めてケーブルを差し込み、端子台のネジを締めてケーブルを固定してください。

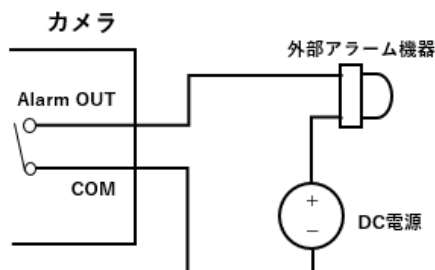


【ご注意】

- ケーブルを接続した後は、ケーブルを軽く引っ張るなどしてケーブルが確実に固定されていることを確認してください。
- 必要に応じてケーブルを延長して使用してください。

・ Alarm OUT

ブザーやパトライトなどの外部アラーム機器を接続することができます。外部アラーム機器を動作させる電源は別途必要で、電圧：40V、電流：300mA までの範囲で使用できます。



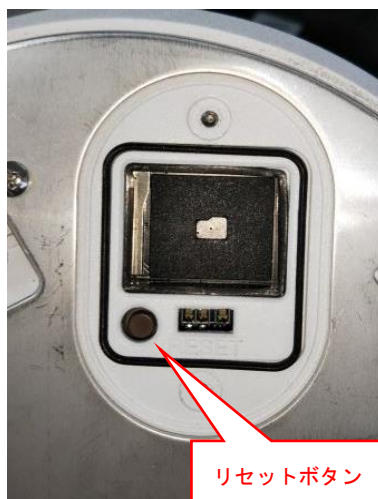
(カメラ内部の動作はイメージです。)

カメラの初期化方法

1. カメラと PoE 給電デバイスに、LAN ケーブルを接続して起動してください。
2. P.4「microSD メモリーカードをセットしてください」の1,2に従ってブラケットとメモリーカードカバーを外してください。
3. リセットボタンを 20 秒以上押してから離すと、初期化処理が開始されます。約 40 秒程度待つと、カメラは工場出荷時状態に初期化され、その後、自動的にカメラが再起動します。

【ご注意】

- カメラと NVR を接続している場合、NVR の「ネットワークランプ」が一度消え、再び点灯します。
- カメラの IP アドレスが、初期値 (192.168.0.200) に戻ります。
- ユーザーアカウントは消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。



付録

【設置に必要な工具・機材】

- ・ LAN ケーブル（2 本：①カメラ—PoE ハブ間、②PoE ハブ—PC 間）
- ・ プラスドライバー
- ・ ドリル（アンカープラグを使用する場合）
- ・ RJ-45 コネクタ
- ・ RJ-45 コネクタカシメ圧着工具

※ RJ-45 コネクタ、RJ-45 コネクタカシメ圧着工具について、防水ジャケットを使用しない場合は、必須ではありません。

【準備を推奨する工具・機材】

- ・ microSD メモリーカード（動作することを確認済みのもの）
※カメラのメモリーカードスロット動作確認用
- ・ PoE パワーインジェクター（問題切り分けのため）
※事前に給電タイプが TypeA か TypeB かを確認してください。
- ・ テスター（ケーブルの断線など確認のため）
- ・ ノートパソコン
※LAN ポートがない場合には、別途 LAN アダプターが必要です。
- ・ PoE 対応 LAN ケーブルチェッカー
※例：LAN-TST5（サンワサプライ社）